



平成28年度

# 家庭学習の手引き



錦小学校では、学校で学んだことを確実に身につけるとともに、これから学ぶことをより理解しやすくするために、そして学ぶ習慣をつけるために、家庭学習はとても大切だと考えています。

どのように家庭で学習するか、どんなことをするか、お子さんと相談したり、約束したりしながら取り組むことができるように「家庭学習の手引き(児童版・保護者版)」を作成しました。子どもたちの学習習慣の確立に向けて、保護者の皆さまのご協力をお願いいたします。



## 大紀町立錦小学校

# 1・2年生

学習時間の目安  
20分以上

- 何でも知りたがっています。
- がんばったこと、よいところをほめてほしいと思っています。
- 一人で学習することや、やり方を決めることはまだ難しいです。

## ◇ いっしょにして、やる気をおこす ◇

いっしょに、学習内容ややり方を決めてください。  
できたことをほめることで、やる気が高まります。



## ポイント

### ①子どもをみる

「家でも勉強する」という習慣をつけてください。

少ない時間でも、いっしょに学習することを大切に、いっしょにできない時は、後で目を通してください。

### ②学習環境について

「学習する場所」をつくってください。家族がそばにいることも大事です。

テレビやゲームは消してください。

### ③学校との協力

学校からの連絡やたよりをいっしょに読んでください。

時間割を合わせた後、宿題や準備が整っているか確かめ、予定帳に押印(サイン)してください。

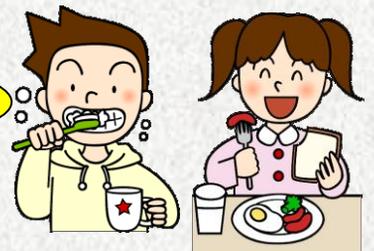
連絡帳は、毎日確認してください。

## 学年で身につけたい力

### 習慣づけの1年生

- ・鉛筆を正しくもって字が書ける。
- ・ひらがな・カタカナが読めて書ける。
- ・1年生の漢字の読み書きができる。
- ・簡単な文章が書ける。
- ・たし算やひき算が正確にできる。
- ・時計が読める。

生活の習慣も大事



最後までチャレンジ!

### 最後までチャレンジする2年生

- ・順序よく話をするができる。
- ・2年生の漢字の読み書きができる。
- ・順序に気をつけて文章が書ける。
- ・九九がすらすら言える。
- ・たし算、ひき算、かけ算が速くできる。



# 3・4年生

学習時間の目安  
30～40分

- いろいろなことに興味を示し、行動範囲も広がります。
- 好きなことに熱中するようになります。
- 自分でやろうとすることが増えてきますが、まだ手助けは必要です。

## ◇ 認めて、ほめて、自信をつける ◇

家族の温かいアドバイスや励ましの言葉によって、やる気を起こします。宿題をみるなど手助けをして応援すると、少しずつ自分でできるようになります。



## ポイント

### ①子どもをみる

がんばりを見逃さず、励ましの言葉をかけてください。

### ②学習環境について

学習を始める時間を決めてください。

テレビやゲームは消します。

### ③学校との協力

学校からのたよりを毎日確認してください。

宿題を確認して、予定帳に押印(サイン)してください。

## 学年で身につけたい力

### あきらめない心

### やる気でチャレンジ3年生

- ・3年生の漢字の読み書きができる。
- ・国語辞典や漢字辞典を手元に置いて使い方に慣れる。
- ・短い詩や俳句をいくつか暗唱できる。
- ・簡単な慣用句を知っている。
- ・ローマ字を読み書きできる。
- ・かけ算やわり算などの計算できる。



### 何事にも進んで取り組む4年生

### 家族の協力

- ・4年生の漢字の読み書きができる。
- ・国語辞典や漢字辞典を手元に置いて使い方に慣れる。
- ・わり算の筆算ができる。
- ・地図を使って見知らぬ場所や地名を調べることができる。
- ・47都道府県の位置が分かり、正しく名前を書くことができる。
- ・簡単な実験ができるようになる。



# 5・6年生

学習時間の目安  
50～60分

- 高学年でも、まだまだ言葉かけは必要です。
- 計画を立て、自主的に学習を進めることが必要となる時期です。
- 体も心も急激に変化します。心が不安定になることもあります。家庭と学校で連絡をしっかりと取り合ひましょう。

## ◇ 認めて伸ばす ◇

子どもの話をよく聞き、個々の成長を認めることで、将来の夢や目標をもって努力できるようになります。



## ポイント

### ①子どもをみる

- ・計画を立てて自力で学習を進めるよう声かけをしてください。
- ・子どものちょっとしたがんばりをほめてください。
- ・他の子と比べず、昨日のわが子と比べてほめてください。

### ②学習環境について

- ・夕食前、早朝など、学習に取り組む時間帯を子どもと相談して決めて下さい。
- ・テレビやゲームは家族で話し合って時間を決め、学習中は、スイッチを切ります。

### ③学校との協力

- ・気になることがあれば、担任の先生と話し合ってください。
- ・子どもの話をよく聞くことを大切にしてください。
- ・学校からのたよりを家族に渡す習慣を続けて下さい。
- ・宿題を確認して、予定帳に押印(サイン)してください。

## 高学年で身につけたい力

### 最高学年に向けての5年生

- ・5年生の漢字の読み書きができる。
- ・国語辞典や漢字辞典を使い、学習に役立てることができる。
- ・筋道を立てて考えたり、文章に書いたりすることができる。
- ・数直線を書いて問題解決に役立てることができる。
- ・世界の主要国の位置が分かる。
- ・パソコンで、ローマ字入力ができる。

自分の  
努力!



### 中学へつなぐ6年生

- ・6年生の漢字の読み書きができる。
- ・結論、理由を示しながら話し合いをすることができる。
- ・文章を正確に読み取り、問われていることに合った答え方ができる。
- ・基本的な計算ができる。

家族の協力



# 中学へ向けて

学習時間の目安  
2時間以上

高学年になると中学校に向けた学習についても意識していく必要があります。ここでは、小学校と比べて中学校では何が変わるのかとその変化に向けた取り組みのポイントについて述べます。

## ◆教科ごとに先生が変わります◆

中学校では、教科ごとに教える先生が変わります。小学校のように、担任の先生がほとんどの教科を教えるわけではありません。よって、板書の仕方、ノートまとめ方、宿題の出し方などが先生によって違ってきます。それぞれの先生の教え方に早く慣れて、自分で学習していくことが大事になってきます。



## ◆テストのやり方が変わります◆

中学校では中間テストや期末テストといった定期テストに変わります。自分の現時点での学力をはかる実力テストもあります。テストの回数は減りますが、テストの範囲が広がるのです。

そこで、日頃から、復習を中心とした自主的な家庭学習が必要となってきます。



## ◆生活のリズムが変わります◆

中学生になると授業だけでなく部活動も始まり、学校で過ごす時間が長くなります。その分、帰宅時間が遅くなります。そして、余裕のあった家庭での時間が限られたものとなってきます。その中で、家庭学習の時間を確保していかなければなりません。



## ポイント

### ①授業を大切に

教科によっては予習をして授業にのぞみます。(国語の意味調べや音読、社会の調べ学習等)

※ 中学校では、英語の意味調べや音読も大切になってきます。授業でわからなかったところは先生や友達に聞いてその場で解決するようにします。出された宿題や課題には必ず取り組み、確実に提出しなければなりません。

### ②自主的な学習を

わからなかったところは何度も繰り返して復習します。

(次の日、3日後、1週間後)  
漢字や社会科の暗記物は宿題だけでなく、毎日繰り返して覚えます。

学期末テストの前には計画を立てて学習に取り組みます。

### ③学習時間の確保

テレビやゲームの時間を制限していきます。大人の都合で子どもの時間を犠牲にしてはいけません。

どんな日でも毎日学習する習慣を身につけるようにします。

中学校では2時間が目安。根気よく集中して取り組める時間と環境を整えることも大切です。